

東京都新宿区北新宿1-8-16
東京土建一般労働組合
電話03 (5332) 3971 (代表)
FAX03 (5332) 3972
発行人・編集人
三木 勉

印刷部数11万2700部
(購読料は組合費のなかに含まれています)
(年間購読料 千八百円)
定価 五十円

けんせつ

東京土建のホームページ <http://www.tokyo-doken.or.jp/>

核兵器禁止条約 批准求める署名

核兵器の使用、威嚇、生産、保有、実験、整備などを禁止した核兵器禁止条約が1月22日に発効します。東京土建では、日本政府に条約への参加を求める署名に取り組んでいます。ご協力ください。

被災地に寄り添う

福島県南相馬市でボランティア活動



自走式草刈機も活躍



14人の有志がボランティアに参加

足立

先が見えないと実感

助け求める声ある限り支援

東日本大震災発生から来年3月で10年となります。福島県では原発事故による広域分散避難の影響で、生活の回復が岩手・宮城の両県よりも遅れているうえ、避難者

に対する理解が薄れ、差別や偏見に苦しんでいます。福島復興に向けて長期的な支援が必要とされる中、東京土建の各支部ではボランティア活動を継続しています。

【足立・書記・早川勝久】11月14、15日、東日本大震災から9年が経過した原発被災地の状況確認と、被災市民から支援要請の声に心えるため「福島県南相馬市ボランティア」を足立支部の有志14人で実施しました。

1日目は「東日本大震災・原子力災害伝承館」訪問と現地視察を実施。伝承館は今年9月に福島原発事故を後世に伝えるために建てられた施設で、原発事故の経過や復興の取り組みについて学んだ他、被災者による体験談を聞きま

した。その後、施設職員の案内で双葉町と浪江町の2エリアを視察しました。2日目は終日「ボランティア活動」。未だ空き巣被害が絶えず、定期的な草刈を知らないと被害をうけやすくなる

【杉並・書記・喜多正之通 信員】新宿支部と杉並支部は合同で11月14日から15日にかけて南相馬市で復興支援活動(被災者宅の裏庭の草刈りと樹木の剪定と埋もれた側溝の掘削、被災者宅跡地の草刈り)を行ないました

杉並・新宿

(新宿5人・杉並22人)。裏庭というより裏山とい

家守りたい被災者

気持ち晴れ晴れと喜び

た側溝の掘り返しのよう

た。その夜は旅館「蒲庭館」に宿泊。コロナのため盛大な飲み会もできませんでした



「国会議員にしっかりお願いしていこう」と菅原都連委員長

都連で国会議員要請行動

コロナ禍の予算を

11月16日、全建総連東京都連は、「国民医療の拡充と建設国保組合の育成・強化を求める」国会議員要請行動に51人(東京土建は21人)の参加で取り組みました。

いたところを除草しました。午後2時すぎに作業を終え、初日からの現場に集結。依頼主の方も避難先のいわき市から来ています。長く続いたふたりの家を守りたい、近所の人もほとんど戻っていないが、支援活動で庭がきれいになり、本当に気持ち晴れ晴れしましたと喜んでいただき、一回元気をもらいました。

朝やけ

■政府は福島第1原発で発生した汚染水処理は海洋放出に一本化するとして

つも、地元の漁業関係者らの反対を受けて、まだ確定していない。この状況に韓国の慶尚南道の議会で海洋放出しないように促す決議案の採択を議論。台湾でも複数の民間団体が台湾外交部(外務省)に海洋放出反対を訴えるなど、海外でも重要な問題として受け止められている。

■経産省は今年、「御意見を伺う場」を7回開催したが、そのたびに福島県の漁業、林業、農業関係の団体などが、海洋放出に反対してきた。福島県内の市町村でも、その7割の議会で海洋放出には反対もしくは慎重という意見書などが採択されている。経産省が行なったパブリック・コメントでも情報公開された7割が放出に反対している。海洋放出に反対する署名は42万人を超えたという。

■すると政府は汚染水を海洋放出する場合、韓国など周辺国に情報公開し、監視できるように協力すると言いつつ、これにはオンラインピックを隠便に開催したいとの意図が透けて見える。政府は海洋放出しないと復興が遅れるというが、海洋放出は数十年間に渡って行なわれるので放射性物質の環境への蓄積は免れないだろう。地域に日常を取りもどす復興とはあまりに程遠いのではないか。